

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 410

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		水鳥の棲む水辺創出事業支援業務委託	1	件	499
		流域案内板設置工事(善福寺川武蔵野橋周辺)	1	件	234
		水鳥一斉調査と善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業シンポジウムに関する謝礼金	2	件	153
		その他(需用費ほか)		件	1,067

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>親水性のある散歩道整備等を目的として立ち上げられた事業ですが、現在、区では河川などの大規模な改修は少なく、河川をより身近なものとして感じられる施設(流域案内板設置など)の整備や日常の維持管理に付随する経年劣化に伴う護岸補修や河床保護等を進めています。</p> <p>また、都施工による善福寺川整備事業と連携して整備を進めてきた親水護岸(区立済美公園の一部を利用)の整備が完了しました。</p>
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>河川は治水・利水の役割だけでなく、貴重な水とみどりの空間として区民に潤いや安らぎを与えるとともに、多様な動植物の生息・生育・繁殖環境を形成するものとして、その役割は大きく見直されつつあります。</p> <p>豊かな自然資源である水とみどりを大切にしたいとする区民意識の高揚を考慮しつつ、水辺を取り巻く良好な環境づくりを積極的に推進することが期待されています。</p>
	今後の予測	<p>水辺は貴重な水とみどりの空間として区民に潤いや安らぎを与えると同時に、まちの景観形成や余暇の有効活用等において、重要な役割を果たしています。特に近年では、まちづくりの観点から周辺の公共施設を取り込んだ一体的な水辺環境整備が社会的な要請となりつつあります。</p>
評価と課題	<p>安全な河川環境を維持するため護岸改修や河床保護を進めてきました。区内の3河川は区民の貴重な財産であり、都と連携した河川整備を進めながら安全で魅力的な水辺環境をつくってまいります。さらに、善福寺川において、潤いと安らぎのある水辺空間の再生・創出を図るため、善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業行動方針に基づき、区民とともに取り組んでまいります。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	<p>まちづくりの観点から周辺の公共施設を取り込んだ一体的な水辺環境整備が社会的な要請となりつつあります。これからの実現に向け、地域住民を巻き込んだソフト事業を継続的に展開するとともに、東京都をはじめとした関係機関の事業との連携による、水辺環境再生を視野に入れたハード事業の実現について検討・調整が必要と考えます。また、近い将来訪れる護岸や親水施設等の老朽化による維持管理・更新などのコストを抑えるため、これらの延命化対策についても研究・検討を行う必要があると考えます。</p>					

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		公園の維持管理			款	5	項	4	目	1	事業	1	整理番号	423	
担当部課名		都市整備部みどり公園課			係名	公園整備係			連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	419		
上位施策No・施策名		8 水とみどりのネットワークの形成			予算事業区分			既定事業							
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	年度	<input type="checkbox"/>	実行計画事業目標			施策	計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)				
	対象	区立公園322園 公園利用者			内部管理		施設維持管理		1	根拠法令等	(1) 都市公園法 (2) 杉並区公園条例				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○区民が安全で快適に利用できる公園にします。			活動指標名(式)		(1) 区立公園管理面積 (2) 区民要望件数							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の公園維持管理			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
					成果指標名(1)										
					算定式・指標の説明等										
					成果指標名(2)										
					算定式・指標の説明等										
区分		単位	23年度	24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)	1	m ²	606,677	610,877	607,487	613,850	612,458	616,875	99.8					
	活動指標(2)	2	件	1,298	0	1,201	0	1,262	0						
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	566,462	561,664	557,082	593,000	587,441	699,758	25年度予算執行率(%)	99.1				
	(内)投資的経費等	6	千円	55,134	19,076	24,227	32,409	29,956	40,366	特記事項 受益者負担分の24年度計画及び実績数値を修正しました。					
	(内)委託費	7	千円	494,639	483,051	478,645	504,876	501,049	595,943						
	職員数	常勤職員数	8	人	26.31	22.60	23.05	17.70	18.85						14.00
		再任用職員数	9	人	49.66	32.95	32.99	32.70	32.73						39.03
		非常勤職員数	10	人		20.11	20.11	21.28	21.18						13.19
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	234,159	196,620	200,535	152,751	162,676						120,820
		(内)再任用職員分	12	千円	152,953	129,494	129,651	126,222	126,338						150,656
		(内)非常勤職員分	13	千円		55,303	55,303	59,158	58,880						36,668
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	953,574	943,081	942,571	931,131	935,335	1,007,902						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	1,481	1,513	1,512	1,464	1,478	1,568						
	財源	受益者負担分	16	千円	11,018	10,867	11,706	10,246	10,212						10,361
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0						0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0						0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	11,018	10,867	11,706	10,246	10,212	10,361						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	942,556	932,214	930,865	920,885	925,123	997,541						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	1.0							

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 423

25年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組	園地清掃委託	563,486
	樹木、花壇、除草等管理委託	563,486	m ²	148,051
	流れ、排水設備、防災設備等保守点検委託	46	園	71,198
	遊具等公園施設補修工事	322	園	51,514
	その他(その他の園地維持管理費)			126,441
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	維持管理業務を一括して委任した桃井原っぱ公園と指定管理者制度による大田黒公園を除いた320園の園地清掃委託等による公園維持管理を実施しました。 南・北公園緑地事務所の直営作業員については、退職不補充のもと再任用職員を配置して対応を図ってきましたが、25年度は更に再任用職員化が進みました。そのような状況に対し、公園維持管理資機材運送及び特別美化業務委託の実施により、遊具の安全点検を含めた施設の安全性の確保を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題	開園してから30年以上経過しながら、ほとんど手を加えられていない公園が80程度あり、老朽化が進むとともに安全性の低下が懸念されており、そのための対策が必要となっています。 一方、公園緑地事務所の職員体制が維持できないことから、日常の安全点検や要望に迅速に対応できる体制づくりが求められており、検討を進めてきました。抜本的な対策として、26年度からは公園緑地事務所の職員配置の見直しと、新たに日常保全業務委託を導入し、迅速な要望対応と遊具の安全点検を含めた施設の安全性の確保を行っていきます。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		公園事業			款	5	項	4	目	1	事業	2	整理番号	424		
担当部課名		都市整備部みどり公園課			係名	公園利用係			連絡先電話番号	3587		昨年度整理番号	420			
上位施策No・施策名		8 水とみどりのネットワークの形成			予算事業区分			既定事業								
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	12	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実行計画事業目標		3	施策	8	計画事業	8	<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)		
	対象		公園利用者 公園ボランティア団体			内部管理		根拠法令等		(1) 都市公園法 (2) 杉並区公園条例						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○安全安心に利用できる公園が増え、苦情要望が減少します。 ○地域住民ボランティアによる公園管理が増えます。			活動指標名(式)		(1) 公園ボランティア団体数 (2) 夜間警備車両台数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○公園利用調整:公園占用許可の調整や受付を行う。また、占有者と一般利用者や近隣への安全対策などの調整打合を行う。 ○公園利用指導:不適切な公園利用に対し、職員や夜間安全パトロールによる適正利用指導を行う。 ○公園ボランティア活動支援:公園内の管理活動に携わる団体に対して必要な資材などを提供し活動の支援を行う。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代) 占用申請利用件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) (代) 要望件数÷公園数 算定式・指標の説明等 児童遊園、遊び場含む								
区分		単位	23年度		24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)		1	団体	159	175	163	180	169	176	93.9					
	活動指標(2)		2	台	1,229	1,226	1,226	1,226	1,226	1,226	100.0					
	成果指標(1)		3	件	831	850	861	900	897	900	99.7					
	成果指標(2)		4	件	4	3	5	4	4	3	100.0					
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	56,406	57,670	57,125	58,535	56,725	59,624	25年度予算執行率(%)		96.9			
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成26年3月31日公園数 区立公園=266 区立児童遊園=51 緑地=5 遊び場=16 計=338					
	(内)委託費		7	千円	45,566	45,930	45,822	46,357	45,985	47,337						
	職員数	常勤職員数		8	人	4.40	4.30	4.11	4.00	4.19	3.30					
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数		10	人		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	39,160	37,410	35,757	34,520	36,160	28,479					
		(内)再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0	0					
		(内)非常勤職員分		13	千円		0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	95,566	95,080	92,882	93,055	92,885	88,103						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	601,044	543,314	569,828	516,972	549,615	500,585						
	財源	受益者負担分		16	千円	1,588	1,619	1,759	1,504	1,516	1,552					
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	1,588	1,619	1,759	1,504	1,517	1,552							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	93,978	93,461	91,123	91,551	91,368	86,551							
受益者負担比率(16÷14)		22	%	1.7	1.7	1.9	1.6	1.6	1.8							

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 424

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		安全パトロール業務委託	1,226	台	45,390
		花咲かせ隊支援	126	団体	8,556
		すぎなみ公園育て組支援	43	団体	1,339
		犬のしつけ方教室開催	4	回	480
		その他(柏の宮公園学習室運営ほか)			960
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	平成25年度中に「すぎなみ公園育て組」が4団体増1団体減、「花咲かせ隊」が5団体増2団体減となり、それぞれ43団体、126団体となりました。夜間の公園安全パトロールは年間を通じて実施しています。区立公園のさまざまな利用状況の情報を収集し、公園での問題解決のため役立っています。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度から始まった「花咲かせ隊」、16年度から始まった「すぎなみ公園育て組」ともに知名度が上がり、参加団体数は着実に増えています。しかし、人手が集まらないや高齢のため維持できないとの理由で脱退する団体も増えてきており、平成25年度には花咲かせ隊、公園育て組あわせて3団体が脱退しています。公園の夜間安全パトロールについて指導の依頼は多く、平成22年度から夏場は3台から1台増やし4台でパトロールを行っています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	公園の夜間安全パトロールの実施により、夜間の迷惑行為に対し、具体的な対応策がとれるようになりました。このため夜間の苦情要望について、区民から一定の評価をいただいています。花咲かせ隊、すぎなみ公園育て組の活動についても、公園の手入れや、美しい花壇に感謝の言葉をいただいています。
	今後の予測	都市における生活様式の多様化により、公園利用によるさまざまな問題が発生することが予想されます。区民の安全、安心な暮らしへの期待も大きく、こうした多様なニーズへの柔軟な対応が求められます。「すぎなみ公園育て組」「花咲かせ隊」いずれの制度も開始から10年以上が経過し、当初からの団体構成員の高齢化が顕著となり継続的な作業が進まない団体もみられます。
評価と課題	「すぎなみ公園育て組」「花咲かせ隊」ともに活動の場も広がり、公園維持管理における区民との協働の取り組みとして地域コミュニティの情勢にも大きな成果をあげています。公園への関心も高まり多くの人の目が公園に向けられる一方で、早朝夜間の公園利用や、犬の放し飼い、騒音などの迷惑利用も増加しており、安全安心なまちを支えていく上で欠くことのできない事業となっています。	

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input checked="" type="radio"/> 対象の見直し	
	安全パトロールは公園と地域の安全、安心を確保するために大きな役割を果たしており、さまざまな区民の要望に対応できる重要な事業となっています。一方で、生活様式の多様化によりますます迷惑利用が増加することが予測され、そうした区民の要望に迅速かつ柔軟に対応することが必要となっています。現在のパトロール方法の見直しや過去のデータを活用した効果的な巡回を図っていきます。					
「すぎなみ公園育て組」「花咲かせ隊」は団体活動の実績を重ね、今では区民との協働による公園維持管理のモデル事業として欠かせない事業となっています。今後は、団体構成員の世代交代が進み団体としての活動が楽しく安定的に実施できるような支援も行っていきます。						

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		遊び場の維持管理			款	5	項	4	目	1	事業	3	整理番号	425	
担当部課名		都市整備部みどり公園課			係名	公園整備係			連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	421		
上位施策No・施策名		8 水とみどりのネットワークの形成			予算事業区分			既定事業							
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	46	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)			
	対象		区立遊び場(16所) 遊び場利用者			内部管理		施設維持管理		1	根拠 (1) 杉並区遊び場等の設置及び管理に関する要綱 法令等 (2) 先行取得用地の活用と管理について				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○区民が安全で快適に利用できる遊び場にします。			活動指標名(式)					(1) 遊び場管理面積 (2) 区民要望件数				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○公園の先行取得用地や、他の公共団体や地主の好意による提供用地を活用した遊び場の整備 ○施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の遊び場維持管理			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
		成果指標名(1)													
		算定式・指標の説明等													
		成果指標名(2)													
		算定式・指標の説明等													
区分		単位	23年度	24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)		1	m ²	91,651	91,651	135,827	135,827	138,697	138,697	102.1				
	活動指標(2)		2	件	57	0	54	0	58	0					
	成果指標(1)		3												
	成果指標(2)		4												
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	28,257	42,354	41,432	57,185	46,904	74,991	25年度予算執行率(%) 82.0				
	(内) 投資的経費等		6	千円	994	902	900	2,124	1,652	1,705	特記事項 遊び場107番(面積4,504.54m ²)を平成26年3月27日付で開設した。 なお、遊び場18番(高円寺南三丁目)は、平成25年4月に道路後退のため面積が31m ² 減少して289.74m ² となり、遊び場103番(上井草三丁目、面積1,604.00m ²)は、平成25年12月に所有者への用地返還のため廃止となりました。				
	(内) 委託費		7	千円	26,502	39,212	38,321	48,629	40,997	66,270					
	職員数	常勤職員数		8	人	3.41	3.40	3.42	3.30	3.30					3.10
		再任用職員数		9	人	0.14	0.70	0.70	0.60	0.60					0.80
		非常勤職員数		10	人		0.10	0.10	0.40	0.40					0.00
	人件費	(内) 常勤職員分		11	千円	30,349	29,580	29,754	28,479	28,479					26,753
		(内) 再任用職員分		12	千円	431	2,751	2,751	2,316	2,316					3,088
		(内) 非常勤職員分		13	千円		275	275	1,112	1,112					0
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	59,037	74,960	74,212	89,092	78,811	104,832					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	633	808	540	640	556	744					
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0					0
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0					0
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	59,037	74,960	74,212	89,092	78,811	104,832						
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 425

25年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(仮称)下高井戸公園(遊び場106番)の清掃、除草、管理委託等	43,820.12	m ²
(1)主な取組	遊び場102番(NHK及び旧印刷局グラウンド)の清掃、除草、剪定、管理委託等	79,542.79	m ²	15,457
	他の遊び場の樹木管理、除草等	12,433.40	m ²	6,282
	他の遊び場の清掃等	12,433.40	m ²	3,418
	その他(他の遊び場の管理運営費、維持補修ほか)			6,071
	(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	16箇所(仮称)の遊び場の清掃、除草、管理委託等を行ないました。		

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題	遊び場は、区立公園が不足している地域の補完的役割を担っており、今後も貴重なオープンスペースとして有効利用していきます。 遊び場102番(NHKグラウンド、旧印刷局グラウンド)については、都市計画公園事業が開始されるまでの間、暫定的に開放、利用することにより、オープンスペースの有効利用と確保を図っていきます。また、今後の都市計画公園事業については、東京都から情報収集を行い、情報の共有に努めていきます。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		公園等の整備			款	5	項	4	目	1	事業	4	整理番号	426				
担当部課名		都市整備部みどり公園課			係名	公園整備係			連絡先電話番号	3583			昨年度整理番号	422				
上位施策No・施策名		8 水とみどりのネットワークの形成			予算事業区分			投資事業										
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	24	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標		3	施策	8	計画事業	4	6	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象		区立公園 公園利用者			内部管理		根拠法令等		(1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○公園の整備により、区民がみどりの中で憩い、ふれあうことができます。また、地域の防災性が向上して区民が安全・安心に生活できます。			活動指標名(式)		(1) 当該年度に新設、拡張整備した公園数 (2) 当該年度に整備した公園面積										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○公園の新設及び拡張整備 ○区民一人当たり5㎡の都・区立公園面積を目標に公園を整備。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標										
		成果指標名(1)		区民一人あたりの都区立公園面積		算定式・指標の説明等		公園・緑地等面積÷人口										
		成果指標名(2)		区立公園の面積		算定式・指標の説明等												
区分		単位	23年度		24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画										
指標	活動指標(1)		1	園	2	2	3	7	6	3	85.7							
	活動指標(2)		2	㎡	5,740	4,271	810	6,568	4,971	4,390	75.7							
	成果指標(1)		3	㎡/人	2.00	2.09	2.07	2.08	2.06	2.07	99.0							
	成果指標(2)		4	㎡	606,677	610,877	607,487	613,850	612,458	616,875	99.8							
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	90,455	6,036,242	6,036,184	3,333,973	3,305,790	154,408	25年度予算執行率(%)		99.2					
	(内) 投資的経費等		6	千円	90,121	6,032,711	6,032,691	3,295,142	3,267,779	111,000	特記事項							
	(内) 委託費		7	千円	85,339	54,453	54,397	110,214	103,444	154,258								
	職員数	常勤職員数		8	人	2.10	1.00	2.35	5.50	6.47	5.50	平成25年度に開園を予定していた都営上高井戸アパート等の建替えに伴う提供公園(1,597.51㎡)が、26年度の開園予定となったため25年度の実績数値が減少となりました。平成25年度は、(仮称)荻外荘公園の用地取得費(約31億円)がありました。25年度計画の「国からの補助金等」の数値を修正しました。						
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数		10	人		0.00	0.00	0.00	0.00								
	人件費	(内) 常勤職員分		11	千円	18,690	8,700	20,445	47,465	55,836	47,465							
		(内) 再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0	0							
		(内) 非常勤職員分		13	千円		0	0	0	0	0							
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	109,145	6,044,942	6,056,629	3,381,438	3,361,626	201,873								
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	9,512,000	6,115,500	7,979,333	12,328,000	15,641,167	30,291,000								
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等		17	千円	36,000	1,951,000	976,000	1,266,400	1,264,217	12,400							
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0									
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	36,000	1,951,000	976,000	1,266,400	1,264,217	12,400									
差引:一般財源(14-20)		21	千円	73,145	4,093,942	5,080,629	2,115,038	2,097,409	189,473									
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 426

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		(仮称)下高井戸公園用地取得	427.51	m ²	82,566
		(仮称)下高井戸公園基本計画等策定支援業務			12,810
		(仮称)荻外荘公園用地取得	6,156.09	m ²	3,118,949
		三谷公園拡張整備工事			23,605
		その他((仮称)下高井戸公園プール解体工事ほか)			67,860
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	(仮称)下高井戸公園については、公募区民によるワークショップの開催と学識経験者で構成する専門検討委員会からの助言や意見を参考に公園の基本計画づくりを進めるとともに、平成25年8月には、前年度に取得した東京電力総合グランド跡地の北西に隣接する都有地を取得しました。また、故近衛文麿の旧居と貴重な屋敷林が残る敷地を(仮称)荻外荘公園用地として取得した他、三谷公園では、南東に隣接していた区の自転車集積所跡地を公園として拡張整備しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>用地取得に多大な経費がかかるようになっていきます。 みどりを残すこと、また地域の防災機能を向上させるため、公園として整備して欲しいという機運が高まっています。 (仮称)下高井戸公園が整備されることにより、方南和泉地区に地域公園が整備され、杉並区7地域全てに地域公園が整備されることになります。</p>
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>空き地や駐車場、貴重なみどりが残る民有地等を公園として整備してほしいという要望があります。 取得した公園用地を早く公園にして欲しいという要望があります。</p>
	今後の予測	<p>震災の経験から、防災意識の向上やオープンスペースの重要性などから公園の必要性が高まっています。 一人当たり公園面積5㎡の確保が、より一層望まれます。 企業グラウンドや社宅の処分、公共施設の再配置などにより比較的大きな土地が公園用地候補となる可能性があります。</p>
評価と課題	<p>区立公園の面積は、前年度と比較して4,970.77㎡の増となり着実に増加していますが、区民1人あたりの公園面積は、平成25年報告(公園調査 東京都建設局)によると23区中では20番目となっており、いまだ低い状況にあります。 一方、少子高齢化に伴い、区民ニーズと時代の変化を捉えた公園の整備が求められています。 今後は、地域の特性にあった公園配置と、特徴ある公園の整備促進が必要になると認識しており、時代の変化をとらえた公園づくりについて、さらに検討を進めていきます。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し <input type="radio"/> 実施主体の見直し <input type="radio"/> 対象の見直し
	<p>・既存公園の整備状況に基づき、重点的に整備が必要な公園配置を検討し、用地取得を計画的に進めていきます。 地域状況に合わせて公園をバランス良く配置し、民間のみどりと併せて区内全体がみどりでつながった住宅都市づくりを目指していきます。 (仮称)下高井戸公園のような地域公園は、これをバランス良く配置することで区全体の防災性が向上し、みどりの骨格づくりとなります。 ・みどりの拠点となる屋敷林や企業グラウンド、公共施設の統廃合や再配置等により空地となる可能性のあるまとまりのある土地を公園候補地とし、公園化を目指していきます。</p>		

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		公園のリニューアル			款	5	項	4	目	1	事業	5	整理番号	427		
担当部課名		都市整備部みどり公園課			係名	公園整備係			連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	423			
上位施策No・施策名		8 水とみどりのネットワークの形成			予算事業区分			投資事業								
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	24	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)				
	対象		区立公園 公園利用者			内部管理		根拠法令等		(1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○公園のリニューアルにより、区民が一層、安全で快適に公園を利用することができます。			活動指標名(式)		(1) 平成24年度からの全面・部分改修公園数 (2)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○既設公園の全面或は部分改修を行い、魅力ある公園に再整備する。 ○老朽化した遊具などの施設を改修する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 「公園や広場」が良いと思っている人の割合 算定式・指標の説明等 区民意向調査による 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	23年度		24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)		1	園		0	0	2	2	1	100.0					
	活動指標(2)		2													
	成果指標(1)		3	%		80	76	80	76	80	95.0					
	成果指標(2)		4													
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	0	31,652	31,440	62,986	62,589	64,356	25年度予算執行率(%)		99.4			
	(内)投資的経費等		6	千円	0	30,614	30,405	58,513	58,165	54,200	特記事項 平成25年度計画の「国からの補助金等」の数値を修正しました。					
	(内)委託費		7	千円	0	31,614	31,403	62,848	62,467	64,217						
	職員数	常勤職員数		8	人	0.00	0.80	1.60	1.80	2.50	1.85					
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	0.20					
		非常勤職員数		10	人		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	0	6,960	13,920	15,534	21,575	15,966					
		(内)再任用職員分		12	千円	0	0	0	386	386	772					
		(内)非常勤職員分		13	千円		0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	0	38,612	45,360	78,906	84,550	81,094						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円				10,196,500	13,192,500	26,894,000						
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	6,480	3,317	0					
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	6,480	3,317	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	0	38,612	45,360	72,426	81,233	81,094							
受益者負担比率(16÷14)		22	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 427

25年度の事業実施状況	内 容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組	松溪公園部分改修工事				28,518
	関根文化公園プール跡地補修工事				3,959
	遊具等改修工事(北)				4,442
	向井公園球戯場改修工事				9,450
	その他(井草森公園監視盤改修工事ほか)				16,220
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・松溪公園は、主に出入口・園路・トイレなどのバリアフリー化を図る改修を行いました。 ・関根文化公園は、プール解体後の敷地部分に出入口や園灯の設置及び植栽を行い広場として利用できるようにしました。 ・老朽化した遊具や球戯場などの施設改修を行いました。 				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	現在300を越える区立公園のうち、約3分の1が1970年代に開園しており、球戯場や木製遊具などが老朽化してきています。 公園周辺の宅地化が進み、球戯場などの騒音対策などの必要性が高まっています。少子高齢化により、公園利用者の対象が子どもからお年よりまで幅広くなってきています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	高齢者が利用できる遊具や施設を望む声が増えてきています。 花木の植栽などで特色づけした公園が好評で、花の時期には多くの問い合わせがあります。 球戯場は、利用面での課題もありますが、利用者からは施設の継続を希望する声が聞かれます。
	今後の予測	開園後、30年間改修が行われていない公園が全体の4分の1もあり、公園の老朽化と安全性の低下が懸念されます。今後更に少子高齢化が進む中で、公園に対するニーズと利用者層の多様化が一層進みます。 公共施設の安全性、利便性の向上が更に求められます。
評価と課題	少子高齢化に伴い公園に対するニーズが多様化していますが、高齢者が利用できる施設がない公園では要望に十分に答えることができていません。また、設置してから時間の経つ遊具は最新の安全基準を満たしていないものも多く、順次改修を進めていても追いつかない状況にあり利用者の安全を確保していくことが課題となっています。 球戯場は設置から30年ほど経過しているものがあり、建替えなど、今後の施設計画の見直しが課題となっています。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
<p>既存公園の再生と有効活用を図るため、公園遊具の改修やバリアフリー対策といった改修を計画的に進めていきます。区民の公園ニーズの変化に迅速に対応し、幼児から高齢者の方まで多世代が利用できるする公園づくりを進めていきます。</p>						

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		みどりを育てる		款	5	項	4	目	2	事業	1	整理番号	428		
担当部課名		都市整備部みどり公園課		係名	みどりの計画係		連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	425				
上位施策No・施策名		8 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分		既定事業									
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	48	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標	3	施策	8	計画事業	2	3	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)
	対象	带状のみどり空間を創出する活動主体、みどりに関心のある個人、屋敷林所有者、みどりの協定締結者、みどりのボランティアに関心のある人など			内部管理			根拠法令等	(1) 杉並区みどりの条例 (2) 都市緑地法						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○地域緑化に関する普及啓発事業の推進を通して、区民等の緑化意識の醸成を図る。			施設維持管理			活動指標名(式)	(1) みどりの新聞の発行部数 (2) みどりの講座・イベントの開催数						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○緑化に関する印刷物の発行やみどりのボランティアの育成、みどりに関する講座の開催等を行う。			成果指標			※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
	成果指標名(1)	緑被率(24年度)			算定式・指標の説明等	概ね5年毎に実施する「杉並区みどりの実態調査」による、区全域に占める樹木被覆地等の割合									
	成果指標名(2)				算定式・指標の説明等										
区分		単位	23年度		24年度		25年度		26年度計画	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績								
指標	活動指標(1)	1	部	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	100.0					
	活動指標(2)	2	回	4	4	4	4	4	4	100.0					
	成果指標(1)	3	%	21.8	25.0	22.2	25.0	22.2	25.0	88.7					
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	8,024	36,492	33,589	19,840	14,720	10,308	25年度予算執行率(%)	74.2				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	3,060	29,190	28,261	13,199	10,327	3,468						
	職員数	常勤職員数	8	人	4.04	4.00	4.46	4.05	4.64	4.00	緑地保全方針策定のための懇談会を5回から3回にし、庁内検討会や他所管の懇談会より意見をもらうこととしました。みどりのバルトづくりでは新規協定を締結しましたが、植栽するスペースなどで資材費についてあまりかかりませんでした。				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.12	0.12	0.30					
		非常勤職員数	10	人		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	35,956	34,800	38,802	34,952	40,043	34,520					
		(内)再任用職員分	12	千円	0	0	0	463	463	1,158					
		(内)非常勤職員分	13	千円		0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	43,980	71,292	72,391	55,255	55,226	45,986						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	1,257	2,037	2,068	1,579	1,578	1,314						
	財源	受益者負担分	16	千円	11	50	1	50	33	94					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	3,007	0					
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	11	50	1	50	3,040	94						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	43,969	71,242	72,390	55,205	52,186	45,892						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2							

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 428

25年度の事業実施状況	内 容	規模	事業費(千円)	
			単位	事業費(千円)
(1)主な取組	杉並区緑地保全方針策定作業			4,736
	高円寺モデル地区におけるみどりのベルトづくり			2,095
	都市のみどりを守るフォーラム開催			783
	みどりの新聞等印刷物の発行	38,800	部	3,471
	その他(みどりの講座の開催、ボランティア保険の加入 ほか)			3,635
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	屋敷林と農地の保全方針である杉並区緑地保全方針の策定に向けた検討を進めました。また、「都市のみどりを守るフォーラム2013」を「座・高円寺」で開催しました。高円寺みどりのベルトづくり事業では、新たに住宅系で協定を結び緑化をすることができました。みどりの新聞35,000部、小学校5年生にみどりの副読本3,800部を配布しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区内の緑の状況は、緑被率が昭和47年より平成9年まで減少を続けてきましたが、平成14年、19年、24年と増加しており、概ね減少傾向に歯止めが掛かっています。一方で、後世に継承すべき生産緑地や屋敷林などは減少しています。 緑被率推移 24.02%(S47)、21.56%(S52)、20.84%(S57)、19.90%(S62)、18.97%(H4)、17.59%(H9)、20.91%(H14)、21.84%(H19)、22.17%(H24)		
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民の緑化意識の高まりを反映して、印刷物や講座に対する関心は高く、要望や投稿などがあります。また、みどりのボランティアの活動が多くの区民に支持され、感謝されています。 平成25年度には東京みどりの研究会主催(杉並区幹事)で「都市のみどりを守るフォーラム2013」を「座・高円寺」で行い、屋敷林や都市農地の保全に近隣区市とともに取り組むことを宣言しました。一方樹木の落ち葉や日照の件について、適正管理の要望も寄せられました。		
	今後の予測	区民のみどりに関する意識は、とても高い関心を示す人とまったく関心を示さない人などに大きく分かれていくと考えられます。そのため、みどりの在り方は不安定です。		
評価と課題	これまでのみどりの普及啓発によって樹木・樹林の保全要望が寄せられたり、魅力的な緑化をしている住宅を見かけるなど、区民のみどりへの関心が高まっています。しかし、みどりに興味を持ってもらうための紙面や講座だけでは限界があり、普及啓発にもさらなる工夫が必要と考えています。みどりに関心のある人も関心を示さない人も興味を持ってもらうような体験事業や視覚に訴えるような映像を使い、みどり環境を理解し、興味を持ってもらえる事業展開をする必要があると認識しています。今後はこのような視点を踏まえ、検討を進めます。			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他			
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
みどりの環境を意識したみどりの普及啓発は今後も継続していく必要があります。今まで以上に生物多様性や地球温暖化など地球規模の話から身近なみどりの話など多様な視点でみどりを見るよう情報発信をすることは、子供や孫に未来のみどり環境を残すことにつながります。 今あるみどりを減らさないこと、みどりを増やす努力をすること、杉並のみどりをよく知ることを念頭に置き、区民、事業者とともに緑被率25%を目指します。						

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		みどりを創る			款	5	項	4	目	2	事業	2	整理番号	429	
担当部課名		都市整備部みどり公園課			係名	みどりの事業 係			連絡先 電話番号	3595			昨年度 整理番号	426	
上位施策No・施策名		8 水とみどりのネットワークの形成			予算事業区分			既定事業							
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	48年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標		3	施策	8	計画 事業	3	<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象	緑化の助成(個人、事業者)緑化計画(個人、事業者)公共施設の樹木管理(区立学校、区立施設)寄付樹木(個人、事業者)			内部管理 施設維持管理		根拠 法令等		(1) 杉並区みどりの条例・杉並区みどりの条例施行規則 (2) 杉並区接道部緑化助成要綱						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)												
	○道路に接した部分を緑化したり、建物の屋上や壁をみどりで覆うことにより、安全でみどり豊かなまちなみ環境を創ります。 ○緑化計画書で一定基準のみどりを設けてもらうことで、ま全体の緑地を確保します。		(1) 接道部緑化助成延長(350m) (2) 緑化計画の受理件数(1,800件)												
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標													
○個人の建物の屋上・壁面に緑化をするときや、道路に接した部分に生けがきなどを作るとき費用の一部を助成する。 ○区内で開発・建築行為等を行う業者と区民に緑化計画書を提出(接道部緑化、緑地の確保、高木中木低木の本数の確保)するよう義務付け指導する。		成果指標名(1)		接道部緑化助成率											
		算定式・指標の説明等		整備延長÷整備計画延長											
		成果指標名(2)		計画緑地面積達成率											
		算定式・指標の説明等		計画緑地面積÷基準緑地面積											
区分		単位	23年度		24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に 対する25年度の 達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)	1	m	382	350	542	350	233	350	66.6					
	活動指標(2)	2	件	1,762	1,800	1,904	1,800	2,032	1,800	112.9					
	成果指標(1)	3	%	55	100	155	100	67	100	66.6					
	成果指標(2)	4	%	156	100	193	100	154	100	154.3					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	89,438	82,918	82,695	82,815	79,683	98,717	25年度予算執行率(%)	96.2				
	(内)投資的経費等	6	千円	4,478	0	0	0	0	1,912	特記事項 ・平成26年度事業費は労務単価上昇による委託料の増加と、学校の環境向上工事により増加しています。 ・活動指標(2)と成果指標(2)は従来の指標(学校接道部緑化の実施校数)では実績のない年が生じてしまうため、平成25年度より変更しました。 ・成果指標(2)の実績及び達成率は100%が最低となります。					
	(内)委託費	7	千円	77,519	74,094	74,091	73,541	73,440	89,489						
	職員数	常勤職員数	8	人	7.19	6.30	6.55	5.80	5.92			5.65			
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.60	0.60			0.70			
		非常勤職員数	10	人		0.00	0.00	0.00	0.00			0.00			
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	63,991	54,810	56,985	50,054	51,090			48,760			
		(内)再任用職員分	12	千円	0	0	0	2,316	2,316			2,702			
		(内)非常勤職員分	13	千円		0	0	0	0			0			
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	153,429	137,728	139,680	135,185	133,089	150,179						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	389,924	393,509	257,903	386,243	571,197	423,620						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0			0			
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0			0			
		都からの補助金等	18	千円	5,387	0	0	0	0			0			
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	5,387	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	148,042	137,728	139,680	135,185	133,089	150,179						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 429

25年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		緑化計画の指導・受理	2,032	件
(1)主な取組	屋上・壁面緑化助成	233	m ²	3,323
	寄付樹木の受領	15	件	1,498
	公共施設の樹木維持管理委託	244	所	70,552
	その他(接道部緑化助成・苗木の育成委託・みどりのリサイクル)			4,169
	(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	緑化計画書の提出2,032件の内訳(200m ² 以上722件、200m ² 未満1,310件) 緑化計画による計画接道部緑化延長6,257.8m(全接道延長の34.9%)、計画緑地面積84,129.1m ² 、 計画樹木本数67,845本 寄付樹木受領本数72本		

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	接道部緑化助成制度は昭和53年度から緑化推進モデル地区内で始まり、昭和60年度に区内全域へ拡大しました。平成12年度には塀の撤去も含め現在の助成制度の体系になっています。屋上・壁面緑化助成については平成14年10月から始まり、平成18年度に一部改正しています。平成24年度は、助成制度全体について改正し運用しました。平成24年度は好評に推移し、11月には予算額に達しましたが、平成25年度は接道部が伸び悩みました。震災後の需要が一段落したと思われ、今後はPRが課題となっています。緑化計画は年々申請件数が増加しています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	接道部緑化助成については、未後退の2項道路の場合緑化工事だけでも後退が条件となるため、苦情をいただくことがあります。緑化計画に関しては、杉並区の場合申請面積の下限を設けず、全ての建築行為を対象としている点が特徴ですが、浸透してきたこともあり不満の声はほぼ聞かなくなりました。大規模の案件では、別の基準を持つ都と区双方にどちらの基準も満たす計画を提出する必要があるため、時に苦情をいただきます。また、寄付樹木に関しては、リスクの大きな大木の移植や、移植完了時期等の条件が折り合わず、止むを得ずお断りする場合、不満の声も聞かれます。
	今後の予測	東日本大震災を受けて塀を生けがきに改修する需要は一段落したものと見られます。今後は進む敷地の細分化に伴い接道部の緑化余力地が減少し、少ない接道部で効果的な演出が可能な、木本と草本が混在する植え込み型の緑化が増加していくと思われます。屋上・壁面緑化はヒートアイランド対策で特に需要が高まると思われます。特に屋上緑化は、平成24年度のみどりの実態調査の結果、緑化面積が平成19年度と比較し倍増していることから、今後も増加が見込まれます。
評価と課題	みどりの実態調査によると、緑被率・接道部緑化延長・屋上緑化面積は共に増加しており、新たなみどりは増えています。特に建物の用途や用途地域に応じ、きめ細かな指導を行う現在の緑化計画制度は、費用対効果の面でも有効な制度と考えられます。一方、建築確認申請総数に対する計画書の提出率は約70%、うち完了届提出率は約25%と低く、向上策が課題となります。また、緑化助成制度は需要に対して申請が少なく、PRが課題です。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他			
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	現行の緑化計画制度は有効に機能していますが、計画書と完了届の提出率にはまだまだ向上が見込め、これを含む現行制度の様々な見直しと同時に、強固に緑化を義務付ける緑化地域制度の導入について、課題やスケジュール等を検討します。緑化助成については平成24年度の改正後の検証を行いながら、変化する緑化手法も視野に、みどりを増やしていただくためのより有効なしくみを検討します。					

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		みどりを守る		款	5	項	4	目	2	事業	3	整理番号	430				
担当部課名		都市整備部みどり公園課		係名	みどりの事業 係		連絡先 電話番号	3595		昨年度 整理番号	427						
上位施策No・施策名		8 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分		既定事業											
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	48	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標		3	施策	8	計画 事業	2	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象		保護樹木等の補助:個人、事業者		内部管理		根拠 法令 等		(1) 杉並区みどりの条例 (2) 杉並区みどりの条例施行規則								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○大きな樹木や樹林を所有者の同意のもと指定し保護しています。特に未来に残したい巨木や珍木については貴重木として指定し手厚く保全しています。		活動指標名(式)		(1) 貴重木指定本数 (2) 保護樹木指定本数										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○一定基準以上の樹木、樹林、生けがきについて、所有者の申し出により保護指定を行い、倒木事故等に対応する損害保険の加入、所有者の維持管理費の負担軽減のため補助金の交付を行い、みどりの保護に努める。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 貴重木保全率 算定式・指標の説明等 貴重木指定本数÷貴重木保全計画本数 成果指標名(2) 保護樹木継続率 算定式・指標の説明等 今年度樹木数÷前年度樹木本数										
区分			単位	23年度		24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に 対する25年度の 達成率(%)						
				実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)		1	本	42	50	40	100	39	100	39.0						
	活動指標(2)		2	本	1,749	1,900	1,724	1,900	1,624	1,900	85.5						
	成果指標(1)		3	%	84	100	80	100	39	100	39.0						
	成果指標(2)		4	%	99	100	99	100	94	100	94.0						
総事業費・ コスト把握	事業費		5	千円	64,021	48,213	43,304	75,528	65,757	851,057	25年度予算執行率(%)		87.1				
	(内)投資的経費等		6	千円	14,322	300	282	21,913	21,901	789,300	特記事項 ・平成23年度と平成25年度の事業費はそれぞれ上高井戸苗圃の縮小工事、市民緑地の整備工事により増加しています。平成26年度の事業費は和田堀特別緑地保全地区の用地取得や暫定整備のため大幅に増加しています。 ・平成25年度予算執行率は保護樹木等補助金の支出が少なかったことにより90%を割っています。						
	(内)委託費		7	千円	28,168	8,726	7,949	33,651	30,603	27,381							
	職員数	常勤職員数		8	人	3.94	4.45	4.91	3.90	4.30					3.90		
		再任用職員数		9	人	0.80	0.70	0.70	1.10	1.10					1.10		
		非常勤職員数		10	人		0.10	0.10	0.42	0.42					0.00		
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	35,066	38,715	42,717	33,657	37,109					33,657		
		(内)再任用職員分		12	千円	2,464	2,751	2,751	4,246	4,246					4,246		
		(内)非常勤職員分		13	千円		275	275	1,168	1,168					0		
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	101,551	89,954	89,047	114,599	108,280	888,960							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	2,076,881	1,793,080	2,219,125	926,860	2,214,846	996,600							
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0					0		
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0					0		
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0								
その他の補助金等		19	千円	7,901	0	7,762	0	7,470	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	7,901	0	7,762	0	7,470	0								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	93,650	89,954	81,285	114,599	100,810	888,960								
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 430

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		樹木・樹林・生けがき・貴重木の保護指定補助金交付	680	件	34,971
		区営苗圃の維持管理	3,816	m ²	6,233
		市民緑地の維持管理	3	所	23,996
		生き物生息場所の保全	3	所	557
	その他()			0	
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	区内の保護指定は、平成26年3月31日現在、保護樹木1,624本、貴重木39本、保護樹林436,085.90m ² 、保護生けがき6,429.6m ² となっています。貴重木については平成25年度候補樹木を絞り込み調査を開始しました。そのほか区営苗圃3箇所3,816m ² 、市民緑地3箇所5,960.51m ² があります。市民緑地は平成25年度新たに1箇所4,277.71m ² を整備し開設しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	保護指定制度はみどりの条例ができた当初から柱となる制度で、今あるみどりを指定することで未来にわたり残す制度です。保護樹木と保護生けがきは新規指定もあるため実績に大きな落ち込みはありませんでしたが、平成25年度は大規模所有者の解除があったため減少しました。保護樹林は新規指定がほとんどないため減少を続けています。平成25年度はこちらも大規模な部分解除が発生し実績が落ち込みました。		
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	保護樹木等の存在は、多くの方に恩恵を与える反面、日照・落葉による雨どいの詰まり・落葉掃除など、近隣の住民に迷惑な面もあります。保護樹木等の所有者が維持管理を怠っていると思われた場合など、区に不満が寄せられます。樹木の維持管理は所有者の責務ですが、必要な維持管理経費に対して区の補助金が少額なため、区が強く維持管理をお願いするのは難しいのが現状です。高齢化に伴い落葉清掃等の日常管理が負担になって存続が困難との話も寄せられます。		
	今後の予測	相続等により敷地の細分化が進行するため、屋敷林等の個人所有の古くからの樹林は減少が予想されます。大きな樹木も細分化や近隣等の関係で、同様に減少傾向が進むと思われます。一方で、マンション等の集合住宅ではまとまった新たなみどりが形成されたり、屋上緑化の増加や草を含め様々な植物を混植する植え込みの増加など、みどりの質が変化していく傾向が進むと思われます。		
評価と課題	保護指定制度は補助金による維持管理費に対する支援、損害賠償責任保険への加入、看板設置によるPRにより保全や普及啓発に一定の成果を上げています。一方、補助金額は剪定等の実際の費用に対して極めて少額である等、現在の保護指定制度では保全に限界があるため、支援の方法を含めて継続して検討を進めます。			

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他		
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し
	保護指定制度について補助金の支給や保険の加入以外の支援の方法等を継続的に検討するとともに、貴重木制度、市民緑地制度、特別緑地保全地区制度、みどりの条例に基づく特別樹林制度等、様々な保全策を活用し効率的かつ効果的な保全を図っていきます。				

平成26年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		みどりの基金		款	5	項	4	目	2	事業	4	整理番号	431				
担当部課名		都市整備部みどり公園課		係名	みどりの計画係		連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	428						
上位施策No・施策名		8 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分		既定事業											
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	14	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標		3	施策	8	計画事業	7	<input type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象		基金に寄附を寄せる個人、団体、事業者		内部管理		施設維持管理		根拠法令等		(1) 杉並区みどりの基金条例 (2) 杉並区みどりの基金運営要綱						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○当面、積立額5億円を目標とする。		活動指標名(式)		(1) 基金寄附件数 (2) 継続寄附団体等数										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○区内のみどりの保全に関する事業の財源に充てるため、区民、事業者及び区が協働して寄附を募る。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標										
				成果指標名(1)		年間寄附等総額											
				算定式・指標の説明等													
				成果指標名(2)		継続寄附団体等による寄附等総額											
				算定式・指標の説明等													
区分		単位	23年度		24年度		25年度		26年度	計画(目標値)に対する25年度の達成率(%)							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画									
指標	活動指標(1)		1	件	18	50	20	50	21	50	42.0						
	活動指標(2)		2	団体	8	10	11	10	10	10	100.0						
	成果指標(1)		3	千円	517	5,000	830	5,000	2,869	5,000	57.4						
	成果指標(2)		4	千円	401	500	481	500	203	500	40.6						
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	822	5,215	1,013	5,145	2,955	5,066	25年度予算執行率(%)		57.4				
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 みどりの保全や緑化推進のPRイベントを開催し、寄附金をいただきました。大口の寄附金もあり例年よりは多く集まりましたが、目標額には至りませんでした。						
	(内)委託費		7	千円	0	0	0	0	0	0							
	職員数	常勤職員数		8	人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25				0.25			
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				0.00			
		非常勤職員数		10	人		0.00	0.00	0.00	0.00				0.00			
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	2,225	2,175	2,175	2,158	2,158				2,158			
		(内)再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0				0			
		(内)非常勤職員分		13	千円		0	0	0	0				0			
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	3,047	7,390	3,188	7,303	5,113	7,224							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	169,278	147,800	159,400	146,060	243,476	144,480							
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0				0			
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0				0			
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0								
その他の補助金等		19	千円	305	215	183	145	86	66								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	305	215	183	145	86	66								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	2,742	7,175	3,005	7,158	5,027	7,158								
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 431

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		みどりの基金寄附総額			2,869
		みどりの基金の利子			86
		その他()			0

(2)事業実績
(協働、行革の取組があれば記入)

みどりのイベント、落ち葉感謝祭でみどりの基金のPRおよび募金活動をしました。また、ジャズストリートとタイアップしてみどりの基金をPRする「みどりの基金キャンペーン」を協力団体でおこなってもらったり、地元のお祭りでみどりの基金の寄附をしてもらいました。

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	年間の寄附総額が、概ね小額のまま推移しています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	基金の使い道については具体的なみどりの保全に直接使われないなら寄附しないという意見があります。一方、チャリティーコンサートを企画実施するなど、協力する団体も現れてきています。
	今後の予測	いろいろな基金が設立されており、どの基金に寄附しようか迷ってしまう状況です。寄附をする個人、団体を増やさない限り基金の額は伸び悩むと思われまます。
評価と課題	みどりの基金も徐々に認知度が上がり寄附を継続していただける個人、団体も増えてきています。一方で何らかの寄附をしたいと思う区民が、多くの基金の中からみどりの基金を選ぶかどうかは、どれだけPRをし、目的を明確化し、アピールできるかに左右されます。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	平成22年5月に改定したみどりの基本計画の中では、みどりの基金の主な用途はみどりの保全として運用すると明記されています。そのためみどりの基金は平成22年度より保護樹林の補助金に充当しています。しかし、より具体的で見えるものに基金を充当することやその運用の透明化を図るなどが指摘されています。今後はみどりの保全に関する普及啓発などで具体的、効果的な制度を検討していきます。					

平成26年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 432

25年度の事業実施状況	(1)主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		地域別ブロック方式清掃委託	17	所	11,893
		公衆便所の光熱水費	17	所	2,914
		公衆便所の維持補修	17	所	1,006
		公衆便所の管理運営	17	所	282
		その他(公衆便所の樹木管理)			116
(2)事業実績 (協働、行革の取組があれば記入)	現在、17箇所設置している公衆便所の維持管理のため、日常清掃、設備の改修及び施設の修繕などを実施しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題	<p>施設が経年劣化していく中で清潔で利用しやすい公衆便所を提供するには、日常の定期清掃や設備の修繕等では限界があり、また、バリアフリー化も課題となっています。</p> <p>今後、限られた予算の中で区民サービスの向上を図るため、施設の老朽度合いやバリアフリー化が急がれる公衆便所を総合的に勘案した上で、計画的に改修を行います。また、日常の維持管理面では、利用者の協力を得るための方策などを検討していきます。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	